

二〇一六年度  
武蔵中学校 入学試験  
国語 - 解答 -

問一 規則正しく予定がつまっている、孤児院での日々。(二十三字)

問二 孤児院での食事のルールである盛り切りという習慣にとらわれ、本当はごはんを

おかわりしたいのにおかわりしたいことを言い出せずにいること。

問三 より大きい食べ物を自分のものにしてしようとする「弟」の行為から、

孤児院でのつましい食生活がうかがえて、つらい気持ちになったから。

問四 きゅうくつな孤児院の生活から解放された解放感と、できることなら祖母の家に

住まわせてもらいたいという願いのため、座敷を自分の部屋に見立てたかったから。

問五 自分たちが祖母の家で暮らすことができるかもしれないという希望と、

その希望が失われてしまったということ。

問六 自分たちのせいで祖母が不慣れた養老院で生活することになるのは申し訳ないか

自分たちが孤児院に戻ることにしようと、祖母をいたわる気持ち。

問七 孤児院の予定で帰るのだと伝えることで、「ほくら」を引き取ることができないと

言わなければならない祖母の気持ちを少しでも軽くしてやりたいと考えたから。

問八 ホウチョウ 包丁

ハンダン 判断

キソク 規則

クレ 暮

エンソウ 演奏